

2012年度 第4問 問1, 4

問1 ヨーロッパ人が入植する以前の北アメリカ先住民の文化は、自然環境にもとづく生活様式の違いによって、いくつかに分類される。下の①～④の文は、次の図1中のA～Dのいずれかの地域で典型的にみられた自然環境と文化の特徴について述べたものである。Cに該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19



国立民族学博物館『自然のこえ 命のかたち』などにより作成。

図 1

- ① サケやニシンなどの漁労を生業の基盤として、木材で建てられた住居からなる定住集落を形成していた。
- ② 砂漠と岩山が広がる高原地帯において、日干しレンガや石などでつくられた住居に定住し、トウモロコシやカボチャなどを栽培していた。
- ③ 草原地帯において半地下式の竪穴住居に定住し、小規模な農耕と野生植物の採集を行いながら、野牛(バイソン)などを狩猟していた。
- ④ 丸太や枝葉などで小屋をつくって移動しながら、シカやクマなどを狩猟し、衣類用にビーバーやカワウソも捕獲していた。

問4 次の表2は、アメリカ合衆国とその近隣諸国および日本における、1人1日当たりの食料供給栄養量(熱量)の一部を示したものであり、①～④は、小麦、米、大豆油\*、トウモロコシのいずれかである。小麦に該当するものを、表2中の①～④のうちから一つ選べ。 22

\*サラダ油、マヨネーズ、マーガリンなどの原料となる。

表 2

(単位: kcal)

	①	②	③	④
アメリカ合衆国	612	502	94	87
キューバ	368	156	306	635
日本	361	113	79	607
メキシコ	260	118	1,043	64

統計年次は2007年。  
FAOの資料により作成。